



# ノロウイルス食中毒の予防と対策

## ～鳥取県の食中毒発生状況～

鳥取県生活環境部くらしの安心局  
くらしの安心推進課

1

### 鳥取県食中毒発生速報（平成25年）

No	発生日	発生場所	患者数	原因食品	病因物質	原因施設
1	1/14	鳥取市	15	会席料理	不明	飲食店
2	3/10	鳥取市	15	3月8日に提供された食事	サポウイルス	飲食店
3	5/9	倉吉市	1	ふぐの煮付け	テトロドトキシン	家庭
4	9/9	八頭郡 若桜町	調査中	調査中	カンピロバクター	旅館
5	9/12	米子市	9	9月6日に提供された食事	カンピロバクター	飲食店
6	10/14	米子市	36	仕出弁当	黄色ブドウ球菌	飲食店
7	10/18	鳥取市	5	きのこの吸い物、天ぷら	ツキヨタケ	家庭
8	10/19	米子市	1	しめさばのあぶり棒寿司、 刺身(推定)	アニサキス	飲食店
9	10/21	八頭郡 八頭町	1	きのこのみそ汁	ツキヨタケ	家庭

2

# ノロウイルス食中毒の発生状況 (鳥取県 過去5年)

◆発生件数 21 件

◆患者数 696人

◆主な原因施設

飲食店(9件)旅館(5件)仕出屋(2件)

◆原因食品

弁当、給食、手打ちうどん、なます、  
かきのポン酢あえ、かきキムチ

3

## ノロウイルスの感染経路

①糞便や吐物から、人の手などを介して二次感染

②人から人への飛沫感染

③食品取扱者を介して汚染した食品を食べて感染

④汚染された二枚貝などを加熱不十分で食べて感染

⑤汚染された井戸水などから感染

4

# ノロウイルス食中毒の予防対策

## ①調理施設等の衛生対策

→ トイレ、調理器具の消毒

## ②調理従事者等の感染予防対策

→ 専用トイレ、手洗い、健康管理

## ③調理時における汚染防止対策

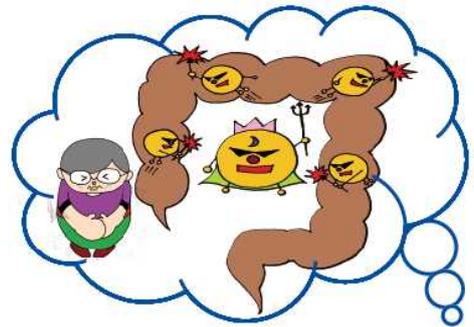
→ 加熱、手袋の使用、手洗い

## ④危機管理体制の整備

→ マニュアルの作成

## ⑤普及啓発及び衛生教育

→ ノロウイルスの正しい知識、従業員教育



5

## 事例 仕出弁当による食中毒

①発生日 平成24年12月12日

②摂食者数 10,351人

③患者数 2,035人(入院1人)

④主な症状 下痢、おう吐、発熱等

⑤原因(推定)

◆調理従事者を介した汚染

◆加熱処理のない工程又は  
盛り付け時の汚染 →複合汚染

→ **手洗いの徹底、健康管理、検便の実施、衛生教育  
施設の消毒、器具の消毒**

6

# 最近の話題

## ◆食品等事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針(ガイドライン)

### ノロウイルス食中毒の拡大防止のため

- ・おう吐物等により汚染された可能性のある食品は廃棄すること
- ・施設においておう吐した場合には、直ちに殺菌剤を用いて適切に消毒すること

### 従業員からの食品へのノロウイルス汚染を防止するため

- ・使い捨て手袋を使用する場合には、交換を行うこと
- ・適切な手洗いの方法及び健康管理に関する衛生教育の実施

## ◆大量調理施設衛生管理マニュアル

- ・二枚貝等ノロウイルス汚染のおそれのある食品の加熱温度を85-90℃で90秒間以上とした。
- ・検食の保存について、調理済み食品は、配膳時に人から汚染される可能性があることから、配膳後の状態で保存すること。

7

# 鳥取県感染症情報センター

- ◆ ノロウイルスは、医療機関から感染性胃腸炎として報告されています。
- ◆ どんな感染症が流行しているのかがわかります。



テーマでさがす 県の紹介



現在の位置: 衛生環境研究所

### 感染症情報センター

窓口・連絡先

業務の概要

リンク集

### 県内の感染症情報

感染症情報(週報・月報・年報)

病原体検出状況

第43週 [平成25年10月21日(月)～10月27日(日)]

疾病名	東 部	中 部	西 部
感 染 性 胃 腸 炎	×	×	×
水 痘 (水 は う め づ)	×	○	◎
流 行 性 耳 下 腺 炎 (お た ふ く か ぜ)	×	△	×
手 足 口 病	○	△	◎
ヘルパンギーナ (夏 か ぜ)	×	×	×
咽 頭 結 膜 熱	△	×	◎
A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	△	○	△
流 行 性 角 結 膜 炎	×	△	×
マ イ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	×	×	×
伝 染 性 紅 斑	×	×	×
R S ウ イ ル ス 感 染 症	◎	◎	◎

◎ 流行している ○ やや流行している  
△ 散発 × 患者発生極少又はなし

- 1 RSウイルス感染症は、東部及び中部地区で患者報告数が増加し、全域で流行しています。
- 2 手足口病は、西部地区で患者報告数が増加し、流行しています。
- 3 咽頭結膜熱は、西部地区で患者報告数が増加し、流行しています。
- 4 水痘は、西部地区で患者報告数が増加し、流行しています。
- 5 定点における患者報告数は、多い順に、A群溶血性連鎖球菌咽頭炎(40件)、RSウイルス感染症(39件)、手足口病(32件)、感染性胃腸炎(31件)です。



血清疫学情報)の

8